

# 上村淳之展

特別展

文化勲章受章・卒寿記念



90年の軌跡ここにあり  
UEMURA ATSUSHI

「時鳥図」(部分) 平成9年(1997) 青蓮院門跡藏

2023年  
10月14日[土]~12月24日[日]

[主催] 公益財団法人 松伯美術館・読売新聞社  
[開館時間] 10時~17時(入館は16時まで) [休館日] 月曜日  
[入館料] 大人(高校生・大学生を含む)1,100円/小学生・中学生550円  
※障がい者手帳のご提示によりご本人と同伴者1名まで2割引

松伯美術館  
SHOUHAKU ART MUSEUM

〒631-0004 奈良市登美ヶ丘2丁目1番4号  
TEL (0742) 41-6666

松伯美術館 検索



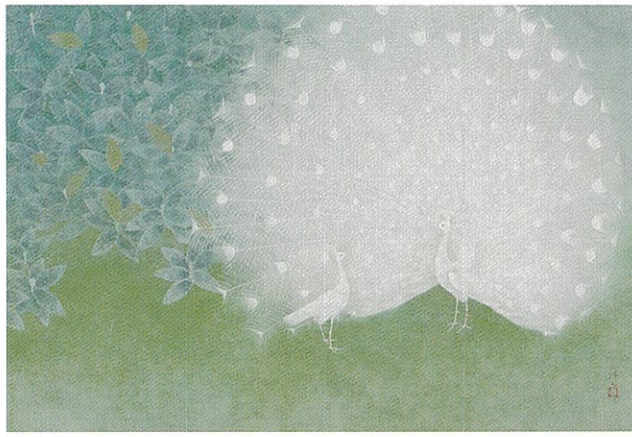


特別展

文化勲章受章・卒寿記念

# 上村淳之展

UEMURA ATSUSHI



「春庭(白孔雀)」平成7~11年頃(1995~99) 京都花鳥館蔵



「風渡る」平成4年(1992) 大分市美術館蔵

## 90年の軌跡ここにあり

当館の館長・上村淳之は、美人画で有名な画家・上村松園を祖母に、花鳥画家・上村松篁を父に昭和8年(1933)に生まれ、令和5年、卒寿を迎えました。

淳之は、「幼いころから、頼まれもしないのに、父が飼っていた小鳥たちの世話が好きであった」といいます。そんな淳之は、美大三年生までの課題制作を終えると、専ら花鳥画を描くようになります。「鳥が好きだからテーマになり、テーマになるから鳥の数も増えてゆく」と述べるように、「啖禽荘」(自宅・アトリエ)で多くの鳥と共に暮らし、絵筆を握ってきました。その業績により、平成25年(2013)に文化功労者となり、令和4年(2022)文化勲章を受章しました。

東洋的感性の減退や現代の日本画について、真摯に警告を発し、さまざまな鳥の姿を通じて、自然の叡智を示し、未来へのメッセージを送り続ける上村淳之の姿を紹介します。



「月の水辺」平成2年(1990) 大分市美術館蔵



「大和鶏」昭和55年(1980) 神宮徴古館蔵



「雪(鶴)」昭和53年(1978) 株式会社ヤマタネ蔵



「幼鳥」平成5年(1993) 岐阜プラスチック工業株式会社蔵



「農」昭和49年(1974) 株式会社ヤマタネ蔵



「雪野」平成3年(1991) 岐阜プラスチック工業株式会社蔵

# 松伯美術館

SHOUHAKU ART MUSEUM



松伯美術館は、Googleが提供するGoogle Arts&Cultureに参加しています。当館所蔵作品の高解像度画像や360°のパノラマ画像「ミュージアムビュー」で館内の様子をご覧ください。

<https://artsandculture.google.com/> ▶ [shohaku](#) 検索

松伯美術館友の会

無料入館ほか様々な特典をご用意、皆さまのご入会をお待ちしております。



【交通のご案内】近鉄奈良線「学園前駅」北口バスターミナル⑤⑥番のりばよりバスで約5分、「大洲橋(松伯美術館前)」下車、大洲橋を渡った右側。※駐車台数に限りがあるため、「電車・バス」のご利用をお願いします。



上村松園 特別展示

「楊貴妃」大正11年(1922)